

平成25年度上越地域職域健診懇談会

大腸CT検査(CTコロノグラフィ)について

上越地域総合健康管理センター
地域健診課 消化器検診係

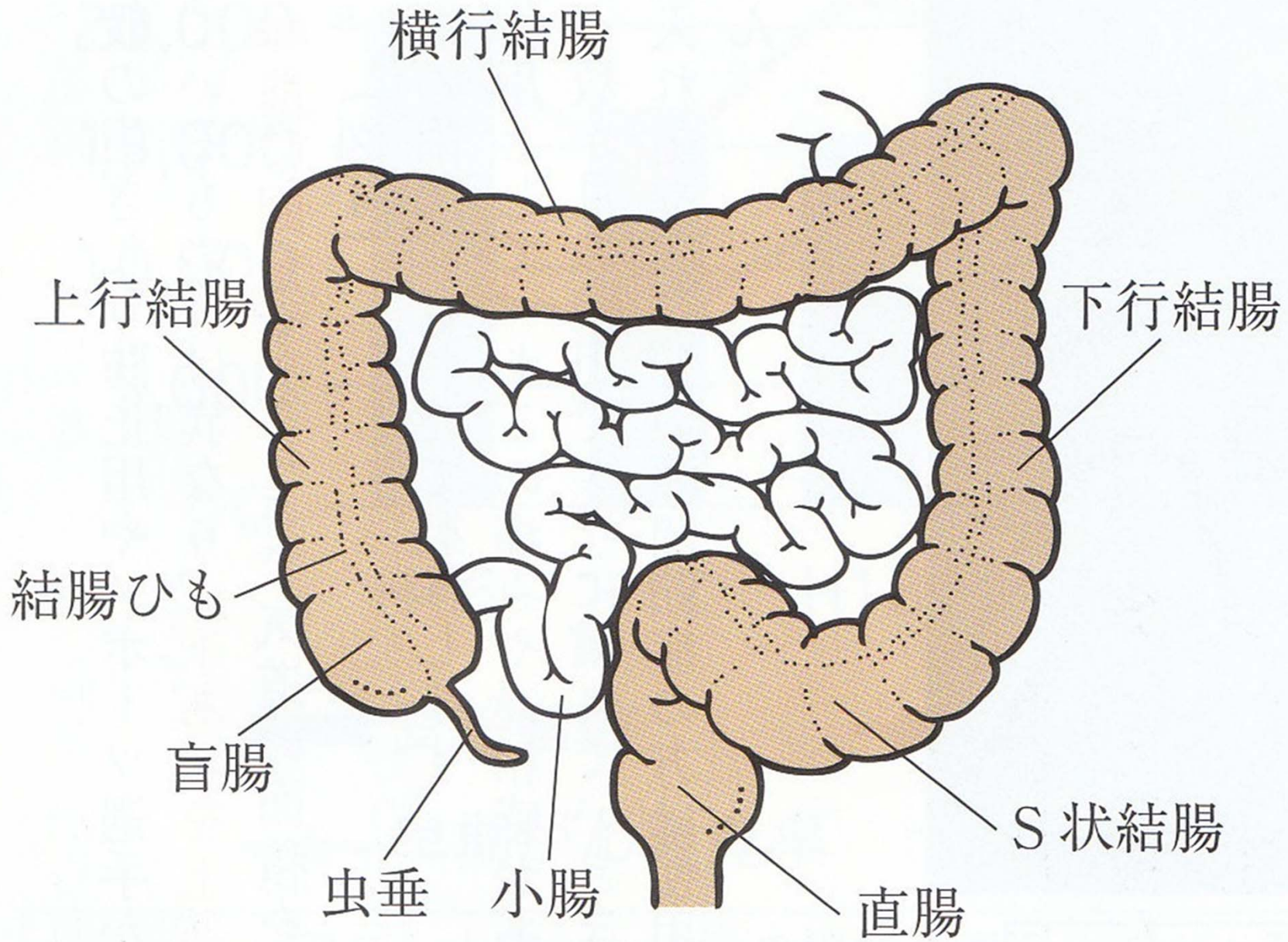
桑原 康

細川 敏孝

廣瀬 泰治

平成24年度大腸がん検診成績

		地域検診	職域検診	合計
受診者数		18,111	33,370	51,481
検診 結果	異常なし	17,313	32,109	49,422
	要精検	798	1,261	2,059
要精検受診者数		640	794	1,434
要精検受診率(%)		80.2	63.0	69.6
大腸がん数		42	28	70
発見がん率(%)		0.23	0.08	0.14



大腸CT検査と大腸内視鏡検査の比較

	大腸CT検査	大腸内視鏡検査
長所	<ul style="list-style-type: none">・検査時間が短い(約15分程度)。・検査中の苦痛が少ない。・大腸のひだの裏側も観察できる。・腹部CT画像から、大腸以外の腹部所見の情報が得られる。	<ul style="list-style-type: none">・粘膜面の色の変化を観察できる。・組織の採取、ポリープの切除などができる。
短所	<ul style="list-style-type: none">・組織の採取ができない。・粘膜面や病変の色・硬さの情報が得られないため、平坦な病変は検出しにくい。・放射線による被曝。	<ul style="list-style-type: none">・内視鏡挿入時など、苦痛がある場合がある。・大腸のひだの裏側が見えにくい時がある。・狭窄(狭くなっている)部位があれば、その部位より奥は観察できない。

		チェック欄
検査の前日	朝食	おかゆもしくはめん類など消化の良いものをお召し上がりください。
	昼食(検査食)	 <p>コンソメスープ カレーライス</p> <p>食後 水 (200ml以上)</p>
	間食	 <p>バナナ・オ・レ</p> <p>※水もしくはお湯で溶かしてお召し上がりください</p>
	夕食(検査食)	<p>夕食は午後7時までに召し上がってください。</p>  <p>お吸い物 親子丼</p> <p>食後 水 (200ml以上)</p>
	間食	 <p>ミルクココア</p> <p>※水もしくはお湯で溶かしてお召し上がりください</p>
	午後9時	<p>午後9時までに、緩下剤を、2錠お飲みください。</p> <p>午後9時 水 (200ml以上)</p>
	検査の当日	朝食(検査食)
午前9時		 <p>午前9時にマグコロールPを水(200ml)に溶かしてお飲みください。</p>
		<p>以後、検査終了までは何も食べないでください。 予約時間の3時間前までは、水または白湯をお飲みいただいてもかまいません。 (定期的にお薬を服用の方は、水または白湯で飲んでください。) ※糖尿病のお薬を服用の方はかかりつけ医の指示に従ってください。</p>

注意) 卵アレルギー・カレーの食べられない方は、素うどんに変更して下さい。

※カレーライス、親子丼、バナナ・オ・レ、ミルクココアは食べる順番が入れ替わってもかまいません。

※昼、水のような便が数回出るのが普通です。できるだけ排便してください。

※検査当日は、検査前夜から検査当日の朝まで、お薬を服用しないでください。

大腸CT検査食メニュー

前日昼食



カレーライス

前日間食



ミルクココア

前日夕食



親子丼

朝食



コーンスープ



コンソメスープ



バナナ・オ・レ



お吸い物

炭酸ガス自動注入器

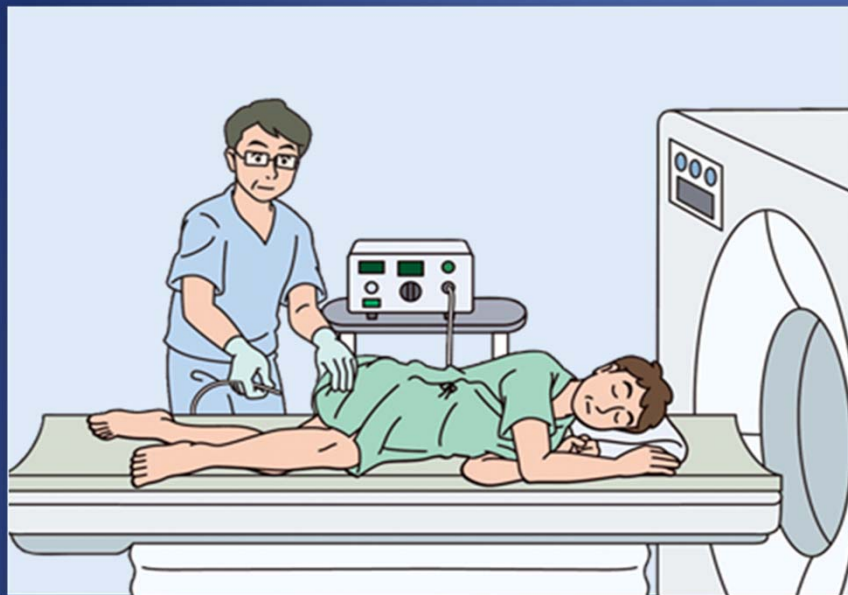
プロトCO2L[®]



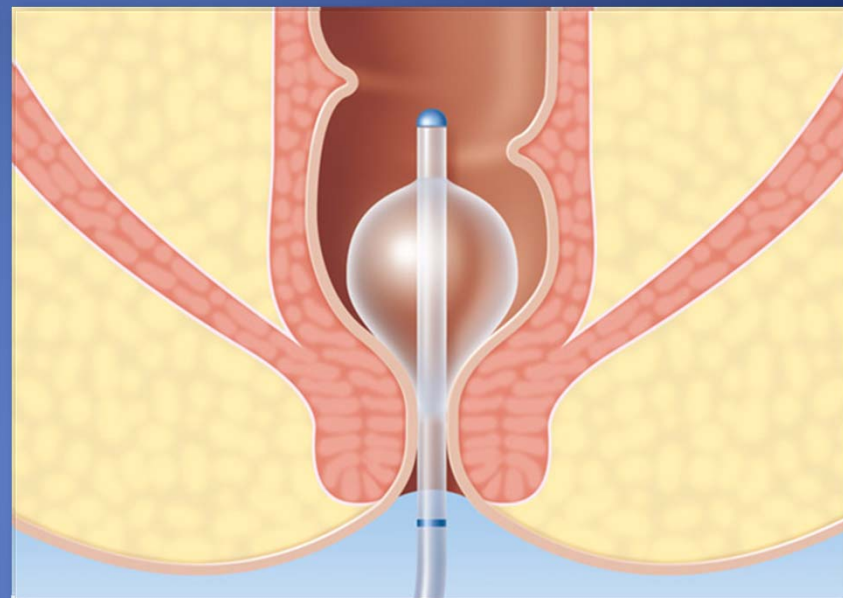
プロトCO2L[®]カテーテルセット



送気準備



患者の体位を左側臥位にし、プロトCO2Lカテーテルセットの先端を大腸に挿入します。



ほとんどの患者の場合、20センチチップの青い線がほぼ肛門のあたりにくるようにします。カテーテルの挿入具合によって、必要に応じてバルーンを膨らませます。

撮息送分す好の体ニ

1502
W2=420
WWE=200

-390.0

0.0



1

6

11

16

21

26

31

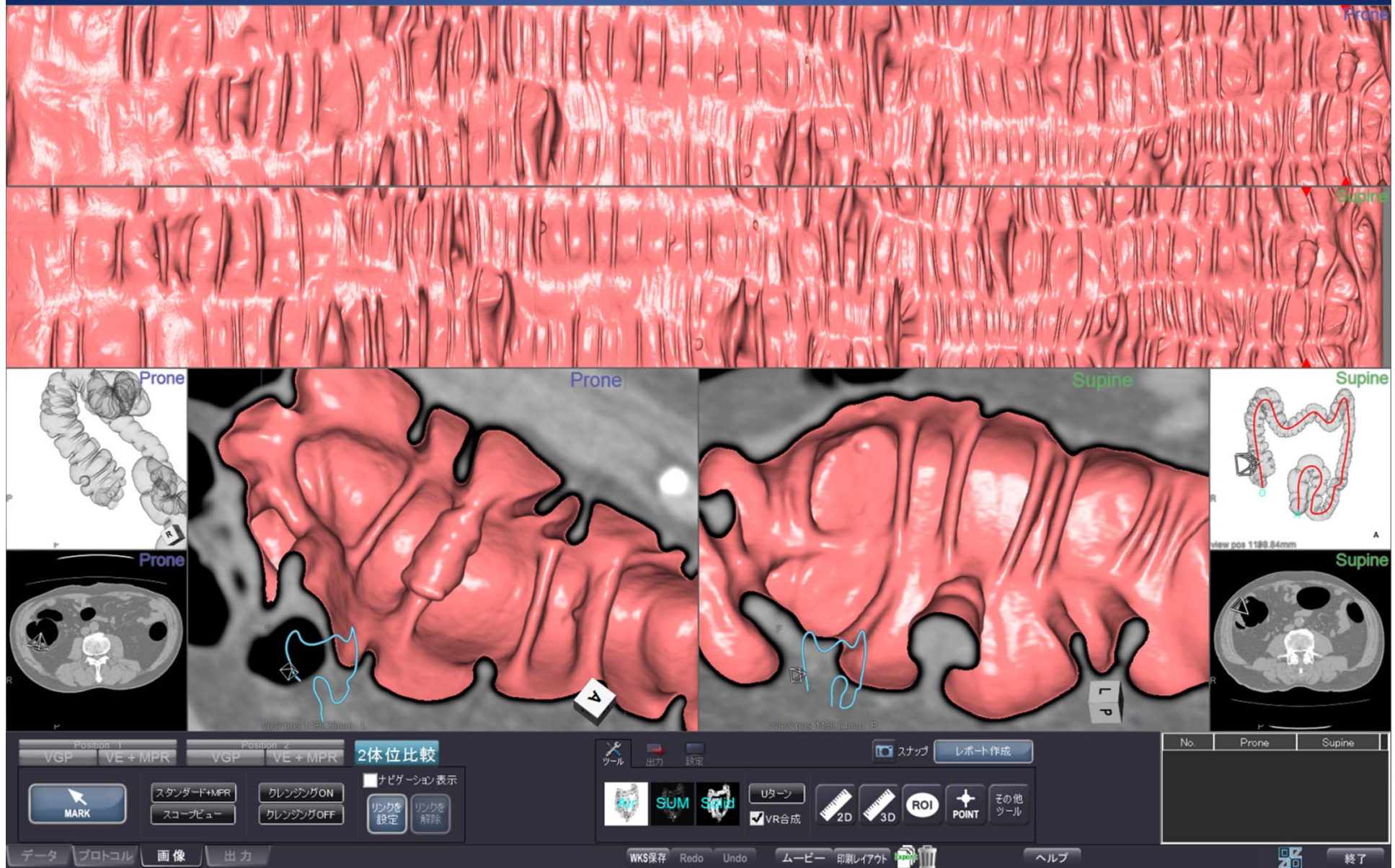
36

40



201 21 21 21 502
045Y/M
SU/HF/VFA
FL 200

画像処理・解析



医用三次元画像処理ワークステーション「ziostation2」



大腸CT検査を受けられない方

- 重篤患者の方
- 妊娠中、及び妊娠の可能性のある方
- 消化管に閉塞のある、またはその疑いのある方
- 肛門部に疾患がある方
- 人工肛門の方
- 大腸憩室がある方
- 重症の硬結便のある方
- 急性腹症が疑われる方
- 腎障害のある方
- 中毒性巨大結腸症の方

導入までの準備と今後の運用

- ・平成24年1月より検討、大腸CT検査導入医療機関への施設見学、消化器検討会での勉強会、デモ機器での実際の撮影、解析、読影等を行い、検査精度や簡便さを消化器専門の医師会会員と共に確認。
- ・平成25年7月から、医師会会員受託検査を開始。
- ・今後、ドック健診等のオプション検査に組み込む予定。

最後に

- 大腸CT検査は受診者にやさしい検査である。

検査の前処置の簡便さ

苦痛や違和感が少ない

検査時間が短い

など

→将来的に需要の増加が見込まれる。

- 検査方法や読影方法の標準化が必要。
- 検診後の2次検査として充分対応できるのではないかと考える。